

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型障がい福祉サービス事業所つながり		令和7年5月29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・学習室やブレイルームなど、しっかりと分けられておりスペースも適切だと思う。	・ボール遊びもするのでブレイルームがもっと広く、柱のない構造にできたらいいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・利用定員に対して職員配置数等は職員一人ひとりが意識して動いていると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・学習室とブレイルームの間にあるドアはしっかりとバリアフリー化がされている。	・トイレが近くにあればいいなと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	・清潔に保つように掃除等はされている。	・時折りエアコンがあまりきかず暑い時がある。 ・ブレイルームの広さに対してクーラーの冷やす能力が小さい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・ボール遊びをしたい子とは別に絵を描きたい子が利用する個別の部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・子ども達の支援のために職員がどのように行動したらよいか等考えながら行動している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・都度保護者からの意向等を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・都度、ミーティングや朝礼等で意見等を共有する場が設けられている。	・長期休暇の休憩時間が気になります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		・現在、外部評価を行っていない為今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・定期的に研修や受講等の機会が設けられている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・個別の支援プログラムが作成されており確認する事ができる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・一人ひとりの計画が作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・日々の支援の中で職員が気づいたこと等樹王法交換を行いながら検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・職員間で共有されており支援や改善案等を加えながら支援が行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・連絡帳等を用いて子どもたちの状況等を把握できていると思う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・個別支援計画書に本人支援、家族支援、移行支援、地域・連携を設定し具体的に支援内容を記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・ミーティングで話し合い意見を出し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・同じ活動でもやり方を変えたりしマンネリ化しない様に色々な方法で行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・その時の子どもの状況によって個別活動、集団活動を組み合わせ支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・ミーティングを開き活動内容の確認や情報共有を行っている。	・長期休みや振り替え休日など朝から利用する児童がいる時はできない為、前日やその日の夜にグループLINEで確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・送迎前にその日の出来事を共有したり、グループLINEで情報を共有したりしている。	・支援終了後は送迎時間になっており送迎から戻ってくると退勤時間になる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎日日誌を記入しており気になった事はミーティングで話し合われている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的に行い、必要性があれば相談員と連携を取り突発的にも行っており、職員間でも共有と見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		・4つの基本活動を意識して組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・月の活動を決める際に子どもたちのやりたい事などの意見を聞き取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・基本的に児童発達管理責任者が出席し必要に応じて児童指導員、保育士も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・何かあった際に協力医療機関や障害福祉、関係機関と連携していく体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・下校時間が曖昧な時は学校に電話して確認したりお迎え時に先生と情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・現段階で該当する児童はいないが必要があれば情報共有と相互理解に務める体制はできている。	・現段階で該当する児童はいません。。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・他のサービスへ移行する子が出てきた場合に情報を提供しています。	・現段階で放課後等デイサービスから他のサービスへ移行する子はいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	・動画研修サイトで動画を視聴している。 ・全体研修で外部講師を呼び研修を行う事を検討している。	・地域の児童発達支援センターとの連携が薄い為今後連携を図る様にしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・近くにある学童クラブや同じ法人の事業所と定期的に交流をしたり地域のドッジボール大会に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・地域の事業所が集まる連絡会に加入し研修や会議に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・連絡帳を活用しその日の状況を記入したり送迎時に口頭で伝えたり、保護者からお家での様子や情報を得ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・支援方法や支援グッズの提供を行ったり必要があれば面談も実施している。	・家族等の参加できる研修の機会は設けていない為保護者の意見を聞き要望があれば検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明しており不明な点など質問があればいつでも答えられる様にしている。	・契約から年月が経っている保護者に対して再度説明が必要かと思われる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・定期的に会議を開いき家族や本人の意向も踏まえて作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・個別支援計画書、モニタリングと説明を行い保護者からサインをもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・家庭から悩み等の相談があれば助言を行ったり支援方法を提供したり事業所で実践している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	・利用児童の兄弟を事業所に呼んで一緒に活動をしたりしている。 ・送迎時に保護者同士の様子を伝えたり情報共有したりしている。	・保護者の要望を確認し検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・苦情があった場合に相談窓口を設置している事を契約時に説明しており事業所以外の窓口も案内している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・Instagramでその日の活動状況を発信している。	・保護者に対しての周知がまだ十分にできていないのと完全に活用する事ができていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報の取り扱いについての職員への周知や個別ファイルなどは鍵付きのロッカーに保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・連絡帳やメールを通しての連絡も行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・夏祭りなどの活動を行う際に近くの学童クラブに参加への声掛けを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・各マニュアルを策定し職員に周知すると共に定期的に研修・訓練を実施している。	・家族等に周知不足な所があるのでしっかりと説明し周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・業務継続計画は策定されており災害・感染症と定期的に全体研修を行っている。	・業務改善計画の保護者への周知がまだ十分にできていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・てんかん持ちの子の体調など職員全員で周知しており、保護者や学校の先生に様子を確認したり報告したりしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	・現在、該当児童はいないが受け入れる際に対応する体制は作られている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・年2回避難訓練をB型と合同で行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			・家族への周知不足の部分は大きいのでしっかりと周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4	・ミーティングで気になった事などを職員間で情報を共有し解決策を話し合い実行している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・動画研修サイトの活用や定期的に全体研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4	・現在、該当児童はいない為、個別計画に記載はしていないが定期的に委員会を開き情報共有と話し合った事を職員に周知している。	